



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—早期利上げ観測など台頭し主要3指数が下落—

	前週終値	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,552.57	18,529.42	18,547.30	18,481.48	18,448.41	18,395.40	-157.17	-0.85%
騰落幅		-23.15	+17.88	-65.82	-33.07	-53.01		
S&P500	2,183.87	2,182.64	2,186.90	2,175.44	2,172.47	2,169.04	-14.83	-0.68%
騰落幅		-1.23	+4.26	-11.46	-2.97	-3.43		
ナスダック総合指数	5,238.38	5,244.60	5,260.08	5,217.70	5,212.20	5,218.92	-19.46	-0.37%
騰落幅		+6.23	+15.48	-42.38	-5.49	+6.71		

### ＜先週の概況＞

先週の米国株式市場は、ダウ平均が週間で160ドル近く下落するなど主要3指数揃って下落しました。週末にイエレンFRB議長の講演を控えているとあって様子見地合いが強まり、イエレン議長の早期利上げに肯定的な発言を受けて26日のダウ平均は50ドル以上下落して取引を終えました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



## 米国株式市場バリュエーション

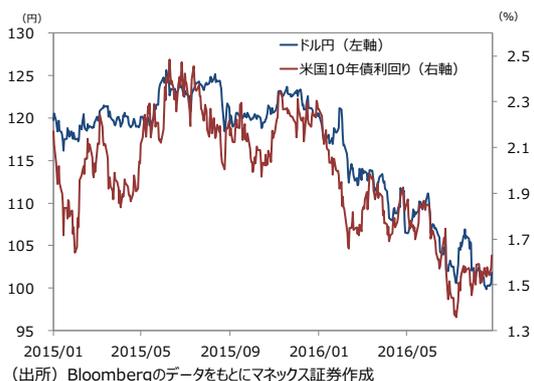
指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.4	3.2	2.6%
S&P500	18.5	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.5	3.6	1.2%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年8月26日時点)

S&P500と騰落レシオの推移

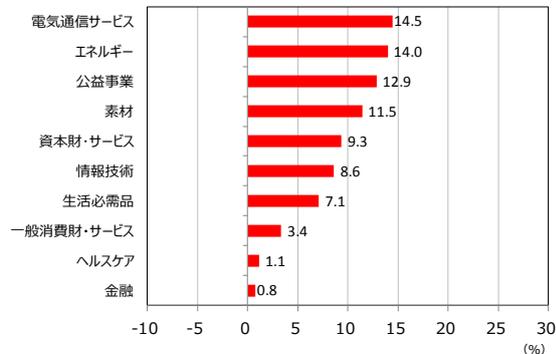


ドル円と米国長期金利の推移



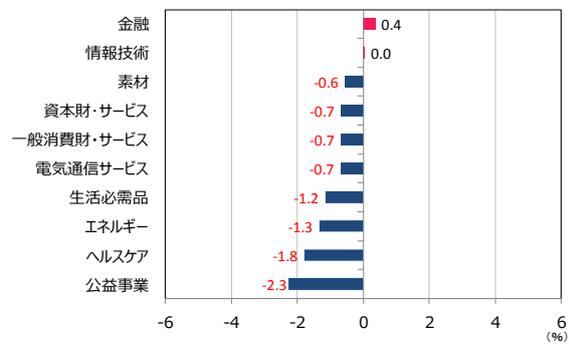
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (8/22-8/26)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CSCO	シスコシステムズ	2.7
MSFT	マイクロソフト	0.7
JPM	JPMorgan Chase & Co.	0.5
PG	Pfizer Inc.	0.3
NKE	ナイキ	0.2
V	ビザ	0.1
INTC	インテル	0.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (8/22-8/26)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
UNH	UnitedHealth Group	-3.8
WMT	Walmart Stores	-2.3
AAPL	アップル	-2.2
UTX	United Technologies	-1.7
BA	ボーイング	-1.6
CAT	キャタピラー	-1.4
KO	コカ・コーラ	-1.4
DIS	ウォルト・ディズニー	-1.2
AXP	アメリカン・エキスプレス	-1.1
IBM	IBM	-1.1

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中上昇は7銘柄にとどまりました。シスコシステムズ(CSCO)は3%近く上昇したものの残る6銘柄はいずれも1%未満の小幅な上昇となりました。

### <下落>

ユナイテッドヘルス・グループ (UNH) が週間で4%近く下落したほか、ウォルマート・ストアーズ (WMT) とアップル (AAPL) も2%以上下げています。

## 先週発表された主な経済指標

### イエレンFRB議長 ジャクソンホール講演

26日にイエレンFRB議長のジャクソンホールでの講演が行われました。議長は講演の中で「労働市場の回復など追加利上げの条件が整ってきた」との主旨の発言を行い、早期利上げに含みをもたせました。今週発表される8月の米雇用統計が堅調な内容であれば、9月20日から21日にかけて行われる連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが実施される可能性が高まりました。

さらにフィッシャー副議長がイエレン議長の発言について、「9月利上げおよび年内の複数利上げの可能性があることと整合性がある」と述べたこともあり、26日の米2年債利回りは前日比0.05%の大幅上昇となりました。

## 今後発表される主な経済指標

### 8月分米雇用統計

非農業部門雇用者数（前月差） 市場予想 +18.0万人 前月 +25.5万人

平均時給（前年比） 市場予想 +2.5% 前月 +2.6%

9月2日に8月分の雇用統計が発表されます。上述したようにイエレンFRB議長やフィッシャーFRB副議長は米労働市場の堅調な改善を背景に、利上げ時期が近づいているとの認識を示しています。

そして、9月のFOMCで利上げを行うかどうかの最大の判断材料が9月2日に発表される米雇用統計でしょう。非農業部門雇用者数が市場予想の18万人程度の増加、平均時給や失業率も前月同様堅調な内容であれば9月利上げの可能性が大きく高まるとみられます。



(出所)トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

## マーケットビュー—2日発表の雇用統計が最大の注目材料に—

先週のマーケットビューではイエレンFRB議長の講演が注目材料で、年内利上げを示唆する発言があれば金利上昇・ドル高が進みやすそうと記しました。議長が年内利上げを示唆する発言を行うとともに、フィッシャー副議長も議長の発言に同意したことから米金利は大きく上昇しました。

今週はなんといっても2日に発表される米雇用統計に注目が集まります。雇用統計が堅調であればいよいよ9月の連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが実施される可能性が高まりそうで、週の前半はそれを織り込む動きが出て金利上昇・ドル高が進みやすいとみられます。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会